

平成 22 年 6 月 23 日

委員 各位

(独) 日本学術振興会  
情報科学用有機材料 142 委員会  
委員長 小出 直之  
C 部会主査 安達 千波矢

情報科学用有機材料第 142 委員会  
「有機光エレクトロニクス部会 第 41 回研究会」開催通知  
有機太陽電池—研究現場からの最新情報

最近、太陽電池に対する注目度には目を見張るものがあります。太陽光等の再生可能エネルギーを利用した「ゼロ・エネルギー」化、CO<sub>2</sub> 排出を極力削減した「ゼロ・エミッション」化を推し進めるためにも、これからの太陽電池開発は極めて重要な課題となります。中でも有機太陽電池は、作製過程においてもエネルギー消費量が少なく、また、軽量・低コスト等の特長を有しており、次世代太陽電池の一つとして期待されています。この有機太陽電池を実用化するためには、変換効率、素子寿命を抜本的に改善する必要があり、そのための基礎研究が、現在、活発に進められています。今回、この分野の最前線でご活躍の若手研究者の方々から、研究現場での最新の情報を提供してもらうべく研究会を企画しました。皆様方のふるってのご参加を期待しております。

1. 日時： 平成 22 年 9 月 3 日 (金) 13:00—17:45
2. 場所： 京都大学 宇治キャンパス おうばくプラザ セミナー室 4, 5  
(〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄 電話：0774-38-4394)  
(JR 奈良線「黄檗」駅下車、徒歩約 5 分)  
<http://www.uji.kyoto-u.ac.jp/campus/access.html>  
<http://www.uji.kyoto-u.ac.jp/campus/vicinity.pdf>
3. 研究会プログラム：(敬称略)
  - 1) 「一次元有機／無機ナノ材料を用いた光電変換デバイスの開発」 (13:00 - 13:45)  
京都大学エネルギー理工学研究所 佐川 尚
  - 2) 「ドナー／アクセプタ相互浸透型積層構造の作製と光電変換特性」 (13:45 - 14:30)  
大阪大学大学院工学研究科 藤井彰彦
  - 3) 「塗布型有機薄膜太陽電池の特性とバルクヘテロ構造解析」 (14:30 - 15:15)  
東レ株式会社電子情報材料研究所 塚本 遵

( 休 憩 )

  - 4) 「界面設計による高分子薄膜太陽電池の高効率化と光電変換素過程の分光学的基礎研究 (仮)」 (15:30 - 16:15)  
京都大学大学院工学研究科 辨天宏明、大北英生、伊藤紳三郎
  - 5) 「有機薄膜太陽電池の基礎特性向上とモジュール化」 (16:15 - 17:00)  
産業技術総合研究所太陽光発電研究センター 當摩哲也
  - 6) 「電子物性を自在に制御できる新規透明導電膜材料を目指した材料設計」 (17:00 - 17:45)  
広島大学大学院工学研究院 今栄一郎

(付記)：準備の都合がありますので、出席のご都合を同封の封筒の回答用紙で 8 月 27 日までにお知らせ下さい。